

開催日：令和元年7月19日（金）
場所：三重県立美術館 会議室2

令和元年度第1回三重県立美術館協議会 開催結果

平成30年度事業について

- ・川端康成と横光利一展で、映画に絡めてれば、もっと違った結果になったのではないか。
- ・川端康成と横光利一展で、当時の天才たちは全部つながりがあったことに感動した。
- ・展覧会では自分で体感できるのはよい。
- ・県で活動している美術家を紹介するという重要な仕事を県立美術館は行っている。企画展に合わせて三重県ゆかりの人たちの展示をしてはどうか。
- ・美術の教員で構成される研究会において、学芸員が展覧会の魅力を話すことで、高校生の集客に効果があるのではではないか。

平成31年度事業について

- ・WEB 広告を活用すべき。
- ・他所でも聞いたが美術館での収益に対する予算の配分について、県が美術館の精力的な活動に理解をしようとしていない。
- ・大正期に活躍した関根正二展が開催されるが、大正期の作品は素晴らしいものが多いので、高校生向けにレクチャーされたい。
- ・中谷ミチコ展はすごくよかった。受付に聞いてもすごくいいと勧められた。
- ・増山雪斎展などのように幅広い年齢層に見てもらえて、家族で来られるような展示が入館者数の増加につながるのではないか。